



平成22年11月10日

〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町29番31号 清桜404

特定非営利活動法人 動物実験の廃止を求める会 (JAVA)

理事長 長谷川裕一 様

前略

ご依頼がありました、「化粧品等の動物実験に関する公開質問状」につき、別紙のようにご返信申し上げます。

なお、ご依頼状には「事実誤認の惧れを回避するために、同質問状以外による回答はお断りさせていただきます」とございましたが、前回(2008年)の質問状でもご返信申し上げますように、製品の安全性担保と動物愛護の両立に向けての私どもの思いをご理解いただき、誤解のないようお伝えいただくためには、ご指定の書式で回答するのは難しいと判断いたしました。

従いまして、お送りいただいた質問状の書式に替え、今回お送りする書式にて返信させていただきます。

どうぞご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

〒131-8501

東京都墨田区文花 2-1-3

花王株式会社

生活者コミュニケーションセンター

深澤純一

Tel. 03-5630-9911

Fax 03-5630-9919

e-mail soudan@kao.co.jp

## 化粧品等の安全性確認のための動物実験に関して

平成 22 年 11 月 10 日  
花王株式会社  
生活者コミュニケーションセンター

10月26日付け貴会よりいただきました「化粧品等の動物実験に関する公開質問状」に対して、弊社の取り組みを下記にお示しいたします。

### 1. 公開質問状の質問1に関して

化粧品、トイレットリー製品について動物を用いた試験は、行っておりません。

弊社では、原料（配合成分）及び製品の両方について、安全性の確認を行っています。製品の安全性の確認には、原料の安全性情報を広く収集しリスク評価に生かすと共に、細胞等を用いた動物実験代替法を積極的に取り入れ、また人が実際にその製品を使う条件での実使用評価も行います。その結果、現在、化粧品、トイレットリー製品について、製品の安全性を十分に高く保ちながら、動物を用いた試験は行っておりません。

医薬部外品及び原料の安全性については、適切な動物実験代替法がなく製品の安全性確保上やむをえない場合や法規制で求められる場合には、動物を用いた試験を行うことがあります。その場合にも動物愛護の精神に則り十分な配慮をいたします。

### 2. 公開質問状の質問2～7に関して

動物実験の廃止に向けて動物実験代替法の開発研究を積極的に推進します。

花王は、既にある動物実験代替法を積極的に取り入れると共に、新たな動物実験代替法の開発にも力を入れ、積極的に他社、業界団体などとも技術開発に取り組んでおります。

具体的には、培養細胞を用いる皮膚感性試験代替法（h-CLAT）を株式会社資生堂と開発し、国内外の企業との共同研究の結果、欧州代替法検証センター（ECVAM）における検証研究が開始されております。眼粘膜刺激性試験代替法についてはS T E試験（短期間曝露試験）を自社で開発し、現在、日本動物実験代替法検証センター（JaCVAM）にて検証研究が進められております。

海外においては、2007年から欧州化粧品工業会（Colipa）は動物実験代替法開発についての新たなプロジェクトを立ち上げており、弊社もプロジェクトメンバーの一員として貢献しております。

2009年3月よりEU域内での化粧品原料に関しての動物実験が禁止されたことも踏まえ、今後さらに動物実験代替法開発研究を積極的に推進してまいります。

しかし、全ての安全性評価の項目について、動物実験代替法が現時点では開発されるに至っておりません。

弊社は、今後ともお客様に安全な製品をお届けしていくことを第一に、動物愛護、環境保護も十分考慮し、信頼される製品づくりになおいっそう取り組んで参ります。なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。